

お知らせ



その他の
お知らせ

トピックス

慰霊巡拝を行います

戦没者遺族の要望に応えるため、旧主要戦域となった陸上および遺骨収集の望めない海上等における戦没者を対象として、慰霊巡拝を行います。

対象 戦没者の配偶者(再婚者を除く)、父母、子、兄弟姉妹、参加遺族(子・兄弟姉妹)の配偶者、戦没者の孫、甥、姪

※参加されたことのない遺族を優先するため、参加経験のある方は、お断りする場合があります。

所 旧ソ連・中国・南方等

※詳細はお問い合わせください。

申込締切 4月上旬から随時

主催 厚生労働省

問 社会福祉課 社会福祉係

☎お太助フォン42-5615

☎42-2130

声の目録

声の目録は、広島県立図書館に所蔵されている視聴覚資料のうち、貸し出しができるCD・カセットテープ・デジター(CDヘデジタル録音された図書。再生には専用の機器かパソコン用再生ソフトが必要)を紹介したものです。カセットテープ版、デジター版、点字版、墨字版があり、墨字版は広島県立図書館のホームページからダウンロードすることができます。

利用方法

来館または郵送で貸出

対象

視覚に障害があり、広島県立図書館に利用登録をされている方

問 広島県立図書館

☎082-241-2299

時日時 問お問い合わせ先 所場所 予予約 備備考 料料金 申申込

映画「散り椿」上映中止によるチケットの払い戻し

2月16日(土)、クリスタルアージュで予定していた、映画「散り椿」の上映を、制作会社の都合により、中止しました。既にチケットを購入していたみなさまには、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。現在チケット料金の払い戻しを行っておりますので、最寄りの市内各文化センターへ、チケットを添えてお申し出ください。大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

問 生涯学習課 文化・スポーツ振興係

☎お太助フォン42-0054

☎42-4396

世界自閉症啓発デー

平成19年12月の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、日本においても毎年4月2日から8日を「発達障害啓発週間」として、シンポジウムの開催などが行われています。市では、中央図書館で4月1日(月)～15日(月)まで特設コーナーを設置し、関係図書等の紹介等を行います。



自閉症をはじめとする発達障害を理解することは、障害のある人だけでなく、だれもが暮らしやすい優しい社会の実現につながります。この機会に発達障害への理解を深めてください。

問 社会福祉課 障害者福祉係

☎お太助フォン42-5615

☎42-2130

4月1日は「表示登記の日」

土地や建物は法務局の登記簿に記録(登記)することで、その権利が

保全されますが、位置や範囲が不明となっていることによる様々な問題は後を絶ちません。「表示登記の日」にあわせ、専門家による無料登記相談会を行いますのでお気軽にご相談ください。

時 4月7日(日) 10時～15時

所 ゆめタウン吉田店 2階 文化教室

(吉田町吉田594-1)

相談内容

- ・土地、建物の登記に関して
- ・土地の所在などに関して
- ・土地の境界などに関して

問 舛岡土地家屋調査士事務所

☎42-2100

募集

国税専門官募集

受験資格

・平成元年4月2日～平成10年4月1日生まれの方

・平成10年4月2日以降生まれの方で以下に該当する方

①大学卒もしくは平成32(2020)年3月までに大学卒業見込みの方

②人事院が①に掲げる方と同等の資格があると認める方

受付期間

○インターネット申し込み

3月29日(金)9時～4月10日(水)

※受信完了分

○郵送又は持参による申し込み

3月29日(金)～4月1日(月)

※消印有効

第1次試験

6月9日(日)

※詳細は国税庁ホームページをご覧ください。

<http://www.nta.go.jp>

問 吉田税務署

☎42-0008

安芸高田市 ふるさと納税寄附金額

(寄附件数)480件

(寄附額)5,637,000円 (2月分合計)

地方創生推進課定住促進係

☎お太助フォン42-2124

安芸高田

歴史紀行



安芸高田市に
花開いた
古代仏教文化

金堂、三重の塔が建ち並ぶ

明官地廃寺跡

たかみやぐんうちべでら
(高宮郡内部寺)

明官地廃寺復元想像図
(広島県立歴史博物館提供 寺町廃寺復元想像模型写真を反転)



推定金堂跡調査状況



瓦積基壇検出状況

今から35年前、吉田町中馬の小高い丘陵斜面で、「幻の古代寺院・明官地廃寺跡」の発掘調査が行われました。当時の道路改修に伴い、この寺院跡の存在を明らかにするためでした。地権者の協力を得て、瓦が散布する一帯に細長い区画(トレンチ)を土層ごとに掘り下げ、寺院の遺構を探しました。すると表土の下から、建物(推定金堂跡)が建てられた低い段の縁辺に、30cmの高さに平瓦を積み上げた「瓦積基壇」と呼ばれる遺構が見つかりました。この「瓦積基壇」は、奈良県の古代寺院・檜隈寺の講堂跡で見つかったものと類似しており、同様の技術が使われたことにより、この明官地廃寺が当時の国の中心地で造られた寺院と深い関係のあることがわかったのです。

この調査で重要な遺構や遺物(瓦や奈良三彩など)が見つかったことから、その後さらに5年をかけて要所の調査が行われ、遺跡全体の状況やおよその建物の位置が判明、全国的にも珍しい形式の軒丸瓦や前述の「瓦積基壇」を施工することから寺の造営に関わった一族が、「東漢氏」という渡来系氏族であったことが推測されています。また「高宮郡内部寺」という当時の「内部郷」という郷(村)の名を寺名としていたこともわかり、この内部郷が古代に重要な地であったことを物語っています。



真ちゅう製指輪



かえんもののきまるがわら
火炎文軒丸瓦

(生涯学習課 川尻真)

さらに近年の研究で出土した金属製の指輪を分析したところ、真ちゅう製銅と亜鉛の合金であったことが判明しました。分析調査した国立科学博物館の香名貴彦さんによると「国内で古代出土の指輪は、沖ノ島(福岡県)や新沢千塚126号墳(奈良県)出土の金製指輪など極めて限られています。明官地廃寺跡の指輪は真鍮製で、当時は金色に近い輝きを放っていた、国内に類例のない貴重なものです」とたいへん驚かされていました。この指輪は遠く朝鮮半島で作られたもので、明官地廃寺にもたらされた経緯や誰の持ち物なのか、その歴史背景を考えると興味の尽きないところなのです。

明官地廃寺跡は、古代の都の薫り(文化)を色濃く伝える、県内でも数少ない古代寺院跡です。まだまだ未解明な謎を秘め、国史跡級といわれるこの遺跡を、安芸高田市の宝として、未来に守り伝えていくため、さらなる調査・研究、保存が望まれています。